

## ニッポンヒロコバネを兵庫県下で採集

阪上 洸多

鱗翅目コバネガ科は他の多くの鱗翅類と異なり、咀嚼型の口器などの原始的な特徴をもつ(橋本, 2011). 日本産コバネガ科幼虫の多くは苔類のジャゴケ *Conocephalum conicum* (L.) Dum. を摂食する (Hashimoto, 2006; Imada *et al.*, 2011). 成虫の移動は幼虫の餌であるジャゴケ周辺を昼間に飛び回るとどまる(橋本, 1998). この移動能力の低さから地理的隔離によって種分化してきたと考えられている (Imada *et al.* 2011). ニッポンヒロコバネ *Neomicropteryx nipponensis* Issiki は近畿, 中国地方での分布が知られているが, これまで兵庫県での採集記録はなかった (Hashimoto, 2006; Imada *et al.*, 2011). 今回, 本種を宍粟市波賀町赤西溪谷にて採集したので報告する(写真).



6exs, 兵庫県宍粟市波賀町赤西溪谷 Alt 500m, 18. V. 2014, 筆者採集

溪谷沿いに生えているジャゴケ周辺で飛翔している個体やジャゴケに止まっている個体を採集した。晴天時の午前および午後には多数の個体が見られた。ジャゴケは氷ノ山などの他の山地の林道脇にも生育しており, コバネガ類は県内の他の場所からも得られると思われる。今後のさらなる記録が期待される。

杉浦真治氏(神戸大学)にはコバネガ類の生態と文献をご教示いただき, 本稿を校閲していただいた。今井弓女氏(京都大学)には採集したコバネガを同定していただいた。両氏にはお礼申し上げます。

### ○参考文献

橋本里志, 1998. 最も原始的なガ—コバネガ. (保田淑郎, 広渡俊哉, 石井実 編) 小蛾類の生物学, 146-152. 文教出版  
Hashimoto, S., 2006. A taxonomic study of the family

Micropterigidae (Lepidoptera, Micropteroidea) of Japan, with the phylogenetic relationships among the Northern Hemisphere genera. Bull. Kitakyushu Mus. Nat. Hist. Hum. Hist., Ser. A, 4: 39-109.

橋本里志, 2011. コバネガ上科 MICROPTERIGOIDEA. (駒井古実, 吉安裕, 那須義次, 斎藤寿久 編) 日本の鱗翅類—系統と多様性, 66-69. 東海大学出版会

Imada, Y., 2011. Allopatric distribution and diversification without niche shift in a bryophyte-feeding basal moth lineage (Lepidoptera: Micropterigidae). Proc. Roy. Soc. B., 278: 3026-3033.

(Kôta SAKAGAMI 神戸大学農学部)

## 豊岡市でイシガケチョウを目撃

久保 弘幸

2014年11月11日に, 豊岡市日高町山本にて, イシガケチョウ1(雌雄不明)を目撃したので報告する。目撃場所は, 山本地区内にある西垣古墳群の発掘調査現場で, 標高約103mの山頂である。山頂付近は工事のため地表が露呈した状態であるが, 周辺にはスギ・ヒノキの植林地と, コナラを主体とする雑木林が広がっており, 食草のイヌビワも林縁部で散見される。

県北部での目撃は, 筆者自身2回目(前回は豊岡市日高町稲葉の三川山林道入口)である。県北部では, 本種の記録自体が少ないと思われるので, 記録にとどめたい。

(Hiroyuki KUBO 兵庫県明石市)